

平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル
 コード番号 3854 URL http://www.ill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 戸田 泰裕 TEL 06-4798-1170
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の連結業績（平成25年8月1日～平成26年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	5,016	31.6	507	323.5	516	308.2	276	254.9
25年7月期第3四半期	3,812	21.9	119	665.2	126	555.8	77	—

(注) 包括利益 26年7月期第3四半期 276百万円 (197.8%) 25年7月期第3四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第3四半期	48.21	44.46
25年7月期第3四半期	13.70	13.17

(注) 1 平成25年7月期第3四半期の四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

2 当社は平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第3四半期	3,481	1,762	50.5
25年7月期	2,764	1,382	48.8

(参考) 自己資本 26年7月期第3四半期 1,758百万円 25年7月期 1,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年7月期	—	0.00	—	—	—
26年7月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 当社は平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年7月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成26年7月期の連結業績予想（平成25年8月1日～平成26年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	18.6	600	99.8	612	96.6	345	67.6	58.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年7月期3Q	6,203,000株	25年7月期	5,691,000株
② 期末自己株式数	26年7月期3Q	286株	25年7月期	286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年7月期3Q	5,737,204株	25年7月期3Q	5,690,742株

(注) 当社は平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年8月1日～平成26年4月30日)におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による弱さが見られるものの、時間の経過に伴い、その影響も薄まるものと思われ、また、政府・日銀による財政・金融に関する各種政策の効果の発現により、景気の回復基調の継続が期待されております。しかし、海外景気の下振れリスクも残っており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界では、ソフトウェアに関する投資が、緩やかに増加しているものの、ソフトウェアに求められる投資目的は、従来の業務効率の改善はもちろんのこと、販売力強化も含め、企業の業績向上を実現するためのシステム提案が一層求められております。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略として取り組んでまいりました。この戦略効果により、当社グループが重要視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

「リアル」面におきましては、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進めました。販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナー及び展示会を開催しました。そのなかでは、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、販売実績も順調に推移しました。また、Windows XPのサポート終了に伴い、対象顧客への告知と機器の入替えの奨励に加え、消費税率の改定につきましても、顧客のシステム変更を迅速に行っております。

「Web」面におきましては、複数ネットショップ一元管理ソフト「CROSS MALL(クロスモール)」と新たなショッピングモールとの連携開発に継続して取り組むとともに、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで商品力が向上し、実績面でも大幅に伸長しました。

その他、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフト「CROSS POINT(クロスポイント)」は、低コストでネットショップと実店舗のポイント・顧客の一元化と購買履歴の把握を可能にし、スマートフォンをポイントカードとして利用できる機能等を開発したことも評価され、販売実績を順調に伸ばしております。

また、当社グループが提唱してきた「CROSS-OVER シナジー」戦略は、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現可能とするものであり、商談時の競合力の強化と顧客満足度の向上を含め、当社グループ独自の提案スタイルとして更に強化したいと考えております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高5,016,294千円(前年同期比31.6%増)、営業利益507,955千円(前年同期比323.5%増)、経常利益516,669千円(前年同期比308.2%増)、四半期純利益276,606千円(前年同期比254.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して716,824千円増加し、3,481,671千円となりました。その増加の主な内容は、受取手形及び売掛金143,742千円等が減少したものの、現金及び預金517,515千円、商品27,545千円、仕掛品121,190千円、有形固定資産13,022千円等が増加したことによります。

また、負債合計は、336,863千円増加し、1,718,733千円となりました。その増加の主な内容は、長期借入金30,000千円が減少したものの、買掛金68,554千円、未払法人税等64,327千円、賞与引当金60,100千円、退職給付引当金51,006千円等が増加したことによります。

純資産合計は、379,960千円増加し、1,762,937千円となりました。その増加の主な内容は、資本金80,512千円、資本剰余金80,512千円、利益剰余金248,152千円が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月6日に公表しました平成26年7月期業績予想につき、平成26年6月6日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。詳細は当該開示資料をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要な子会社の異動はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	867,433	1,384,949
受取手形及び売掛金	814,570	670,827
商品	81,844	109,390
仕掛品	243,759	364,949
その他	113,650	157,504
貸倒引当金	△8,039	△3,499
流動資産合計	2,113,217	2,684,121
固定資産		
有形固定資産	73,923	86,945
無形固定資産		
のれん	84,975	63,731
その他	187,297	330,226
無形固定資産合計	272,272	393,958
投資その他の資産		
その他	307,322	321,039
貸倒引当金	△1,889	△4,393
投資その他の資産合計	305,432	316,646
固定資産合計	651,628	797,550
資産合計	2,764,846	3,481,671
負債の部		
流動負債		
買掛金	272,540	341,094
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	136,277	200,604
賞与引当金	40,700	100,800
製品保証引当金	9,986	15,091
その他	525,758	627,190
流動負債合計	1,025,262	1,324,779
固定負債		
長期借入金	80,000	50,000
退職給付引当金	265,377	316,384
役員退職慰労引当金	—	16,333
その他	11,229	11,235
固定負債合計	356,607	393,953
負債合計	1,381,869	1,718,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	265,041	345,553
資本剰余金	230,041	310,553
利益剰余金	853,855	1,102,008
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,348,859	1,758,036
新株予約権	34,116	4,901
純資産合計	1,382,976	1,762,937
負債純資産合計	2,764,846	3,481,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	3,812,444	5,016,294
売上原価	2,278,265	2,956,085
売上総利益	1,534,179	2,060,208
販売費及び一般管理費	1,414,226	1,552,252
営業利益	119,952	507,955
営業外収益		
受取手数料	7,350	8,857
その他	1,331	1,180
営業外収益合計	8,682	10,037
営業外費用		
支払利息	2,075	1,255
その他	—	68
営業外費用合計	2,075	1,323
経常利益	126,559	516,669
特別損失		
固定資産除却損	669	109
ゴルフ会員権評価損	—	1,050
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	1,925
特別損失合計	669	3,084
税金等調整前四半期純利益	125,889	513,585
法人税、住民税及び事業税	85,603	253,887
法人税等調整額	△37,655	△16,908
法人税等合計	47,947	236,979
少数株主損益調整前四半期純利益	77,941	276,606
四半期純利益	77,941	276,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,941	276,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,940	—
その他の包括利益合計	14,940	—
四半期包括利益	92,882	276,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,882	276,606
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使による新株発行に伴い、当第3四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ80,512千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が345,553千円、資本剰余金が310,553千円となっております。